

(様式2)

事業所名：高齢者グループホーム わらしべ

作成日： 令和 5年 3月 14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2.19.20.2 9.49	・コロナが5類に移行したとはいえ、人が多く集まるような行事、混雑が予想される観光地への外出、喫茶店、レストランなどでの飲食も自粛した状態である。施設内行事に家族、地域住民等を招待する事も出来ておらず、地域と距離を元に戻すまでに至っていない。	・利用者作品を地域施設へ出展（今年度取組の発展） ・地域行事への参加、交流 ・家族交流会の実施 ・ボランティアの順次受入開始	・コロナ感染予防を徹底し、地域行事の情報収集を行いながら、交流の機会を持つ ・家族交流会の開催	2024年 6月以降計画
2	33	・体調急変時の対応について、内容項目に改善の余地がある。	・体調急変時に対応に関する書類の更新	・法人管理医師と相談の上、書類更新する ・新たな書式で、家族に意向を再確認する（入居当初と思いが変わっている場合もある為）	2024年 4月以降計画
3	10	・意見箱を玄関に設置しているが、意見箱にご家族からの意見が投函された事が無い。活用できていない。	・運営推進会議の委員に家族代表に参加いただいているが、参加されていない家族からも意見がいただけるような仕組みを考え、意見を集い、施設運営に反映させる	・1回/年、家族にアンケートを実施する	2024年 4月以降計画
4	35	・避難訓練の実施はしているが、コロナ渦以降消防署の立会が遠ざかっている	・消防署立会による避難訓練実施。助言ももらう	・避難訓練届書を消防署に提出する際に、立会を依頼する	2024年 4月以降計画

サービス評価の実施と活用状況（振り返り）

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組みについて振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	☐	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐	②利用者へサービス評価について説明した
		☐	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他（ ）
2	自己評価の実施	☐	①自己評価を職員全員が実施した
		☐	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他（ ）
3	外部評価（訪問調査当日）	☐	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐	②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他（ ）
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	☐	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った（提出のみ）
		☐	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐	⑤その他（玄関にファイルを設置、第三者が自由に見ることが出来るようにした）
5	サービス評価の活用	☐	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した（する）
		☐	③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した（する）
		☐	④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ（取り組む）
			⑤その他（ ）